

佐保小学校区説明会での質疑応答、意見等要旨（令和5年4月22日）

	計画について	回答
1	鼓阪小学校は数字の上では過小規模かもしれないが、80数人の規模で統合するという判断基準が納得いかない。東部山間の学校ではもっと人数が少ないのに、統合されてはいない。	確かに、柳生小学校や興東小学校では全校児童数が20人前後になっているが、物理的に統合が難しいという状況である。例えば柳生小学校が統合するとすると、近いところでは、鼓阪北小学校や適性規模の佐保小学校になる。そこまでの移動距離を考えると、単純に数が少ないから統合するという基準に当てはめるのは難しい。
2	令和8年度に統合をするという計画を白紙にするか、せめて凍結して、地域住民や保護者と議論し直すことが重要ではないか。	鼓阪小学校の現状は、児童数が今後も減少していくことが明らかな状態であり、学校規模適正化は進めていく。

	校舎について	回答
1	南側に校舎を建てると、校舎の影が運動場に伸びる。日当たりの悪い場所で、冬場に運動させることになる南側校舎をなぜ選ぶのか。私どもの納得のいく学校を作ってもらいたい。	どの配置で校舎を建てるのかは決定していない。現在、実施設計を行う業者と契約の手続きを進めており、6月末か7月頭に業者が決定する。方向性としては、南側に立てていくことにならざるを得ないと考えている。校舎を全面的に建て替え、体育館、給食室、パンビホームを一新し、教育環境を整えたい。新しい学校の校舎の配置案を複数案考えた中で最適なものを選んでいくことになる。
2	南側で建て替えると、小学校に通っている子どもたちが2年間以上の間、運動場を使えない状態になる。将来の子どもたちのために今の子どもたちが犠牲になってもよいのか。子どもたちの運動場の話については、校長にも意見を聞きたい。	（学校）校舎の配置について実情が見えておらず、まだ分からないところも多いが、子どもにとって休み時間は大切な時間である。 （奈良市）校舎の配置によらず、建替えによって子どもたちに不便を強いる部分はある。不便を最小化するとともに、将来的に良い環境になるようにしていきたいと考えている。情報共有はさせていただきます。
3	北側の建物を建て替える際に、一部だけを建て替えることは難しいのか。耐用年数や強度の基準は考慮しながら一部を建て替えて、残った施設を使いながら次の計画を立てていくことはできないのか。例えば、北側の一番古い建物だけを建て替えて、体育館や南棟は順次建替えとし、生徒数の減少傾向も踏まえ、時期を見て弾力的な建設計画を立てていく方が、効率的ではないか。去年の11月に100周年のモニュメントとして時計台を建てたが、どうするのか。	校舎については、コンクリート圧縮強度が不足している部分も一部あり、改修等も難しい状態であるため、建て替えを考えている。北側に校舎を建てる場合、学校運営にかなり負担を強いることになる。また、特別教室や特別支援教室も確保できなくなり、現実的ではない。 時計台については、工事の中で移設させていただく。
4	昔の校舎の配置にすれば、運動場を確保しながら建て替え工事が可能であると思う。費用だけでなく、運動場が利用できない期間等も含めて検討してほしい。	東側、現地、南側と複数の案があるが、メリット・デメリットや課題、費用面も含めて検討し、お示ししていきたい。
5	運動場が2年以上使えなくなることを、小学生や保護者はほとんど知らない。皆に知らせて、検討する場を設けていただきたい。	全員で議論して意思決定するのは現実的ではないため、代表の方に参加いただくような会議体を設け、検討を進めたい。
6	児童及び保護者全員に対し、南側に建てたら運動場が2年以上使えなくなるということを、知らせてほしい。	（奈良市）方向性が示せる段階で、なるべく早くお知らせさせていただく。 （学校）学校としても、子どもたちに伝えることはできる。
7	次の説明会では、もっと具体的な話を出してほしい。自治会としても住民に説明ができない。ある程度時間がかかってもよいので、案の比較が可能な資料を準備してほしい。	今回の全体説明会では対象者を拡大しているため、今までと同じ内容で説明させていただいた。追加で説明できる内容が出てきた段階で、改めて説明させていただく。学校に隣接しており、工事の影響がある法蓮立花町には別途説明が必要と認識している。

	通学について	回答
1	鼓阪小学校の校区から佐保小学校に通うのは無理がある。学校規模適正化と子どもの命とどちらが大事なのか。	今後、関係部署による合同点検を行い、安全対策を講じて参りたい。検討を踏まえ、通学路について学校や地域と相談し決定していただく。そのための必要な対策は講じていく。
2	若草中学校の生徒と佐保小学校の児童が細い通学路で交差しており、危険である。	その点についても、合同点検の中で、皆様と一緒に考えさせていただきたい。
3	通学路が長くなるので、夏の時期の熱中症が心配である。実際に真夏の昼の時間に歩いて検証はされたのか。	佐保から鼓阪へ、また鼓阪から佐保へも何度か歩かせていただいた。夏の下校時に、佐保小学校の児童の歩くペースに合わせて歩いたこともある。熱中症の予防については、登下校での水分補給や木陰などを通る指導を学校でも実施している。

	その他	回答
1	鼓阪小学校の署名活動についてどう受け止めているのか。	署名については、全国から集まっていると認識している。真摯に受けとめている。
2	鼓阪小学校の跡地を高く売却し、儲けるために統合を進めているのか。	跡地についての活用方法はまだ決まっていない。鼓阪小学校の売却益を目標に統合再編を進めているものではない。